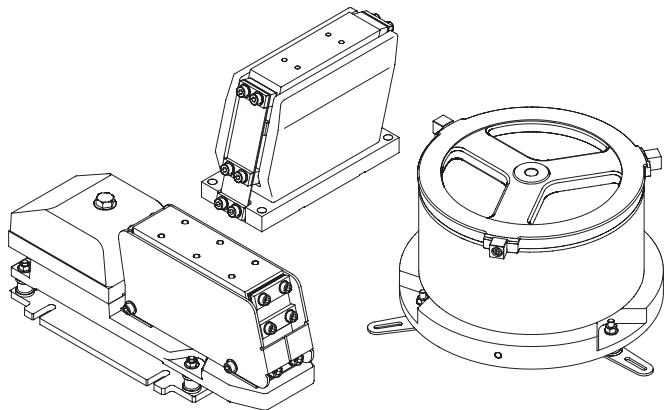
BFC

圧電フィーダ
AFBシリーズ
AFRシリーズ
AFJシリーズ

取扱説明書

この度はBFCパーツフィーダをお買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
また、この説明書は最終ご使用先様までお届けください。

1．ご使用の前に

● **梱包及び輸送用の固定金具について**

ご使用前に必ず取り外してください。

● **コントローラについて**

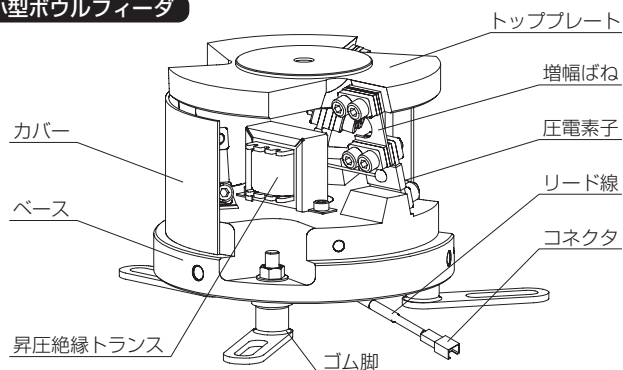
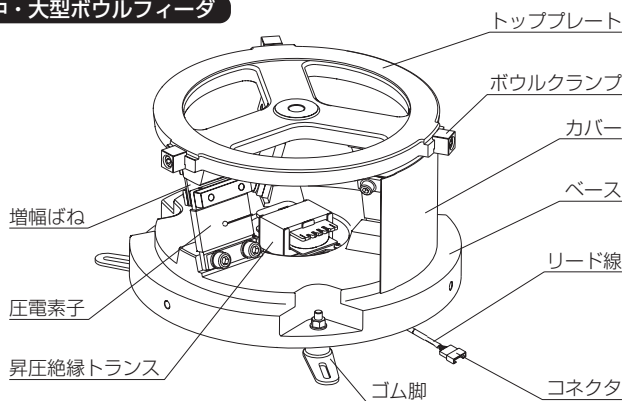
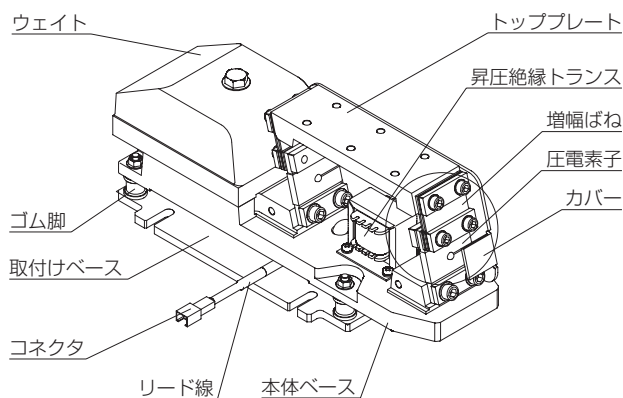
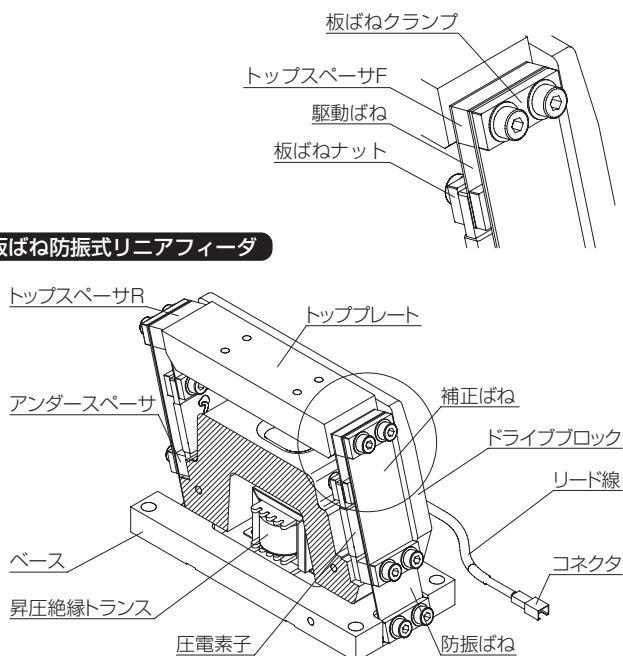
本機には必ずBFC製専用コントローラを使用してください。
※BFC製専用コントローラ以外ではご使用になれません。

2．安全上のご注意

危険 	●活線状態で作業をしないでください。感電の恐れがあります。 ●発火物、引火物等の危険物が存在する場所での使用はしないでください。防爆型ではありませんので発火、引火の可能性があります。 ●高所に設置される場合、条件により落下、転倒の可能性があります。落下、転倒防止の処置を行ってください。
警告 	●カバーを取り外す場合は入力電源を遮断してください。 ●改造による製品の使用は止めてください。故障、破損の原因になります。 ●製品の落下によるケガや破損の原因になるため、積み上げての保管や輸送は行わないでください。 ●リード線は傷付けないでください。漏電により火災や感電の恐れがあります。 ●アース線を接続した状態でご使用ください。
注意 	●粉塵の多い場所には設置をしないでください。 ●ボウルやシュートの溶接加工を行う際は、必ずコントローラとの接続を外し、確実にボウルやシュートにアースを取ってください。 ●製品には防振の為に、ゴム脚や板ばねがあります。輸送中には揺れが発生し、本機のみでなく他の機器をも破損させる恐れがありますので、輸送の際は固定の処置を行ってください。 ●高温、多湿の場所は避け、換気の良い室内に設置してください。 ●周囲温度は 0 ～40℃の範囲内でご使用ください。

3．構造及び各部名称

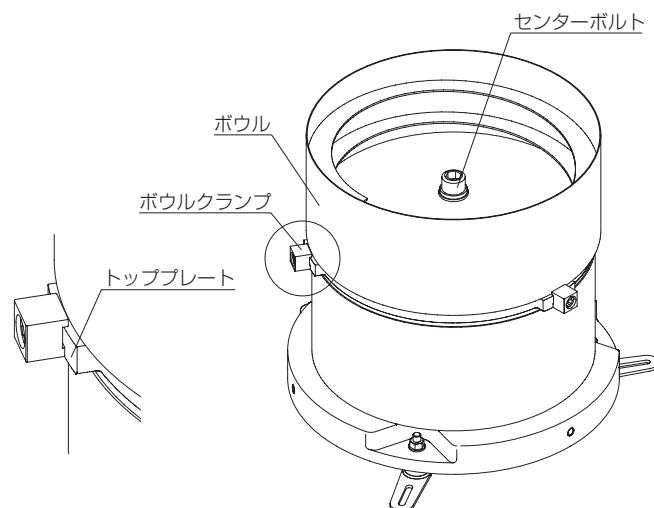
※図は説明の為、片側のカバーを取り外した状態です。

小型ボウルフィーダ

中・大型ボウルフィーダ

ゴム脚防振式リニアフィーダ

板ばね防振式リニアフィーダ

４．ボウルフィーダの取り付け

4-1 振動機本体は防振ゴムによって支持されています。防振ゴムは架台と取り付け板を介して振動機が水平になるように固定してください。

■ボウル取り付け基準表

振動機	取り付け方法	
AFB-100		センターボルト（M６）
150	ボウルクランプ（３ヶ所）	センターボルト（M８）
200		センターボルト（M12）
250		
300		センターボルト（M16）
350	ボウルクランプ（４ヶ所）	
400		

※AFB-150以上のBFC製ボウルをご使用の場合は、センターボルトでの取り付けはありません。

4-2 振動機にボウルを取り付けます。
（本手順はセンターボルトによる取り付けがある場合です）

１．旋回方向を確認の上、振動機のボウルクランプを全てゆるめます。

２．振動機のトッププレートとゆるめた全てのボウルクランプの間にボウル外周をはめ込むかたちでボウルをのせます。

※３．センターボルトの仮締めを行いボウルを固定させます。

４．全てのボウルクランプの取り付けに注意しながらしっかりと挟み込みます。

※５．最後にセンターボルトの増し締めを行います。

（AFB-150以上でBFC標準ボウルの場合は３と５の作業はありません）

4-3【ご注意】

- ボウル加工後は、必ず静バランスをとってください。
- ２台以上のボウルフィーダを同時に運転する場合は、十分な剛性の架台に１台ずつ据え付けてください。
  ※運転音にビート現象を発生する場合がありますが、架台の剛性を上げることにより、騒音レベルは低下します。
- サブベース付タイプはゴム脚固定金具が取り付いています。ご使用前に取り外してください。また輸送の際には取り付けてください。

５．リニアフィーダの取り付け

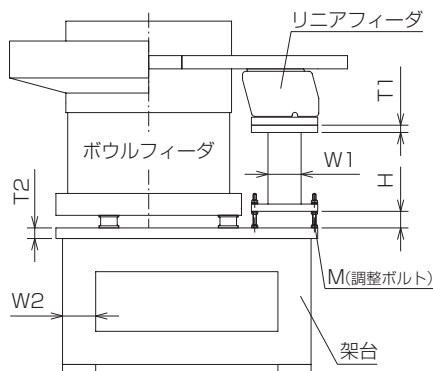
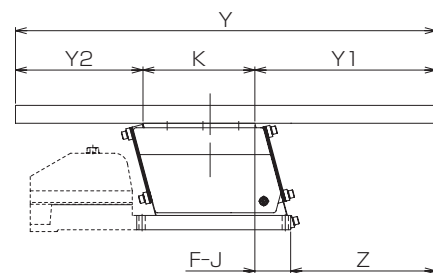
5-1 リニアフィーダを最良の状態でご使用いただくためには、適切なシュート設計および本体を取り付けるスタンド、架台の剛性が必要です。

5-2 振動機本体にシュートを取り付けます。
※リニアフィーダへのシュートの取り付けで、前後への振り分けは下表に基づき設計してください。

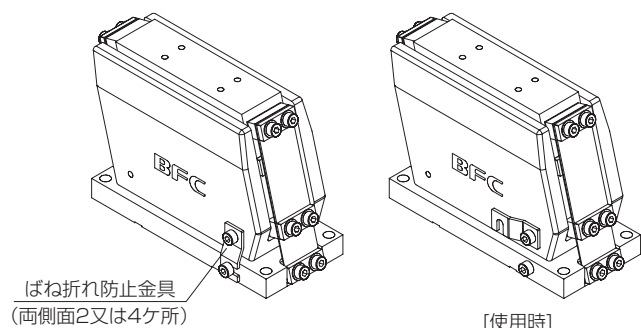
■リニアフィーダへのシュート取り付け目安表

	Z ［Z=0.6X(Y-K)-(F-J)］												K	F-J
振動機＼Y	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700		
AFR-006		55	85	115									64	25
015			75	105	135	165							75	30
030					105	135	165	195					128	31
040							130	160	190	220			168	40
050								135	165	195	225	255	188	52
Z ［Z=0.65X(Y-K)-(F-J)］														
AFJ-005	10	40	75	105	140								90	31
012		10	40	75	105	140	170						125	40
025				40	75	105	140	170	200				160	52

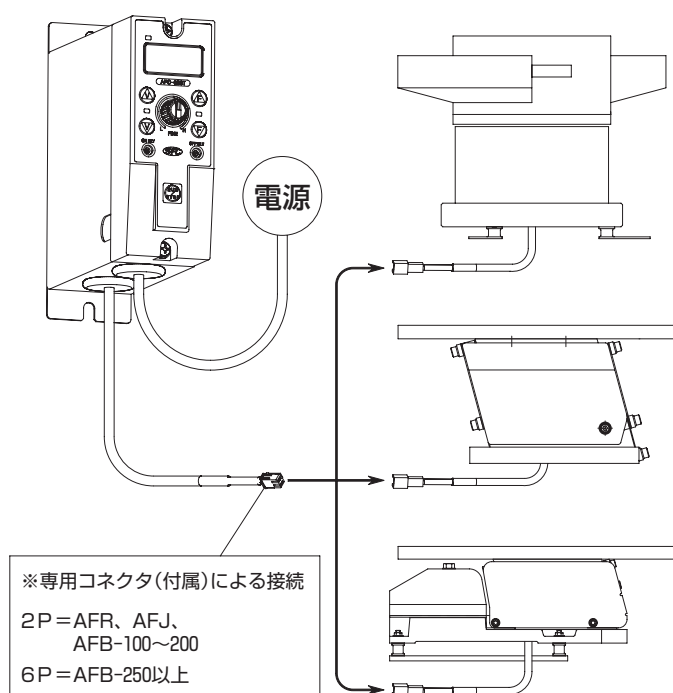
5-3 振動機本体を固定します。
※下表を参考に剛性のある架台に取り付けてください。

振動機	AFR-006/015 AFJ-005	AFR-030/040/050 AFJ-012/025
H	30以内	
T１	12以上	16以上
T２	16以上	19以上
W１	□50又はφ50以上	□75又はφ75以上
W２		
M	M６以上	M８以上

5-4【ご注意】

- シュート設計を行う場合、分割振動を起こさぬよう剛性を持たせてください。
- 架台からオーバーハングする位置にスタンドを取り付ける場合は、リニアフィーダ下部に補強リブを設けてください。
- リニアフィーダを同一ベース上に複数台設置し運転しますとビート現象が発生し、搬送に支障をきたすことがあります。
この場合は1台ずつ別のベースに乗せたり、補強のボルトやリブを入れてください。
- シュート、スタンド、架台の剛性不足により次に挙げるような現象があります。
  ⑴搬送部品がシュート内で逆流する。
  ⑵シュート前後にて搬送部品が飛び跳ねて進まない。
  ⑶シュート内で搬送ムラがある。
  ⑷搬送部品がビート現象にあった動きとなる。
- 板ばね防振式のリニアフィーダにはばね折れ防止金具が取り付けられております。ご使用前に必ず下図使用時の状態にしてください。
（ボルトは元の位置に締め付けてください）

※搬送する際はこの金具を元のように取り付けてください。

6．配線と運転

専用コントローラAFCシリーズの出力コードと接続してください。
コントローラ側にて周波数調整と電圧調整を行い、最適な振動を得ます。

※詳しくはコントローラの取扱説明書をご覧ください。

7．仕　様

振動機	本体質量 (kg)	最大消費電力 (VA)	最大ボウル径 (φ)	最大ボウル質量 (kg)	適用コントローラ
AFB-100	2.2	2.3	170	0.5	AFC-060T/060TF
150	7.0	5.7	250	2.0	
200	14.0	7.0	340	3.0	
250	21.5	12.0	420	5.0	AFC-200T/200TF
300	35.0	24.0	500	9.0	
350	49.0	23.0	590	12.0	
400	66.0	18.5	670	15.0	

振動機	本体質量 (kg)	最大消費電力 (VA)	最大シュート長 (mm)	最大シュート質量 (kg)	適用コントローラ
AFR-006	2.3	1.6	300	0.6	AFC-060T/060TF
015	4.2	3.0	400	1.5	
030	8.5	4.6	500	3.0	
040	13.5	6.9	600	4.0	
050	23.6	9.4	700	5.0	
AFJ-005	2.3	1.2	350	0.8	
012	6.0	1.6	400	1.5	
025	13.0	2.3	550	3.0	

8．保証について

1．保証期間は製品納入日より1年間です。
（但し、1日８時間運転として換算します）

2．次のような場合は保証の対象外とさせていただきます。
　a．お客様により分解、改造された場合。
　b．あきらかにご使用方法の誤りによる故障の場合。
　c．火災、地震、水害などの天災により故障した場合。
　d．ゴム脚、板ばね、取り付けボルトなどの消耗品。

3．有償修理の場合は、別途打ち合わせの上ご請求致します。

BFC feeding systems 株式会社BFC 営業部

本　　社　TEL：0567-56-2550　FAX：0567-56-2552
〒490-1435　愛知県海部郡飛島村梅之郷字西梅103番地 1

大阪営業所　TEL：06-4806-4777　FAX：06-4806-4778
〒532-0011　大阪府大阪市淀川区西中島４-11-27
花原第２ビル702号室

BFC Applications, Ltd. feeding systems & applications 株式会社BFCアプリケーションズ

東京営業所　TEL：03-5905-7160　FAX：03-5905-7161
〒178-0063　東京都練馬区東大泉３-42-８ MB１F

※本説明書は機能向上のために、予告なく変更することがあります。